

○ 令和4年度アクションプランの推進・検証の考え方  
 ・令和4年度アクションプランにおける各戦略の施策からKPIへの寄与度が高い主な事業を抽出し、進捗状況と実績等の検証を行う。  
 ※ 上記以外の事業については、総合計画で定めたKPIにより実績等を把握

戦略名	KPI	A.KPI向上のための施策 (=R4アクションプランに掲げる施策)	B.事業名	C.概要	D.予算額	E.期間	F.実績、 KPIへの寄与
(4)新産業戦略	・カーボンニュートラルやSDGsなどの世界的な潮流も見据えて、県内企業のDX・高付加価値化により収益力を高め、製造業における付加価値率の全国上位を実現  ・新たな製品・サービス、企業、市場の創出により、県民1人あたりの県内総生産を年約2%増加	①自立した経済圏の確立	とやま成長産業創造プロジェクト推進事業	成長が期待される分野での事業化を進めるため、研究会活動に加え、新たにグリーン成長戦略分野に関連する新製品、新技術の研究開発を支援	59,320	R3~	・研究会活動:技術セミナー25回、先進地視察2回 ・研究開発支援:2件採択(北酸、中越合金鑄工) ⇒グリーン成長戦略において成長が期待される分野への県内企業の参入に寄与。
		②広域交通インフラの整備、経済交流	ポートセールス推進事業	インセンティブ制度による集荷、現地説明会やセミナー開催等のPR活動、海外ポートセールス訪問団派遣等を行い、伏木富山港の利用を促進	67,136	R4.4 ~R5.3	・伏木富山港現地視察会を2度開催:基調講演やコンテナヤードの視察等を実施、参加者198人。 ・国際物流総合展への出展:4日間で計392人がブースに立ち寄り、伏木富山港のPRを行った。 ・スマート物流EXPOへの出展:3日間で計144人がブースに立ち寄り、伏木富山港のPRを行った。 ・伏木富山港利用促進セミナーin東京:基調講演や活用事例報告、意見交換会などを実施、計97名が参加した。 ⇒伏木富山港の利用を促進し、経済交流の機会拡大につながった。
		③県内企業のDX・高付加価値化支援	中小企業デジタル変革推進事業	県内企業のデジタル技術を活用した企業変革を推進するため、成功事例の動画作成や、企業課題に応じた講座開催、企業への指導者派遣等を実施	50,000	R4.4 ~R5.3	・成功事例として5社の動画を作成・公開するとともに、企業の課題に応じて4種類の講座(累計81名参加)を開催した。 ⇒県内企業におけるデジタル技術導入・活用の機運を醸成
			中小企業ビヨンドコロナ補助金	新型コロナウイルスで打撃を受けた事業者を対象に、DXや販路開拓、環境改善といった取組みを支援	1,000,000(2月補正) 1,000,000(当初予算) 1,000,000(6月補正) 500,000(9月補正) 1,000,000(11月補正) 500,000(2月補正)	R4.3 ~R6.3	・富山県中小企業ビヨンドコロナ補助金の通常枠「デジタル化」及び特別枠「DX」へ多数の企業から申請があった。 ⇒県内企業のIoTの導入を推進した。
			DX施策立案高度化事業	企業・自治体等におけるDX推進の高度化とデジタル分野での官民連携強化を図るため、シンガポール国立大学と連携したDX推進プログラムとシンガポールでのフィールドワークを実施	7,063	R4.4 ~R5.3	・官民連携によるプログラムとして民間企業からも参加を募って実施(県職員9名、民間企業社員10名が受講済み)。 ・R4年度の優秀賞グループとR3年度の受講生等(県職員3名、民間企業2名)がシンガポールにてフィールドワークを実施。 ⇒参加者のDXに関する知見が深まると同時に官民が交流することにより、県内企業のDX・高付加価値化や新たなサービス等の創出に向けた下地を形成した。
		④カーボンニュートラルを踏まえた産学官連携の強化	富山県カーボンニュートラル戦略策定事業	世界的な潮流を踏まえ、本県におけるカーボンニュートラルの実現に向けた取組みを推進する戦略を策定	32,000	R4.4 ~R5.3	・R5.3.31「富山県カーボンニュートラル戦略」を策定 ⇒ 戦略をもとに、今後カーボンニュートラルの達成に向けた施策を実施
			産学官オープンイノベーション推進事業	成長産業分野の産学官連携による技術開発や新製品開発を促進	31,560	R4~	・新ものづくり戦略推進枠:2件採択(タカギセイコー、コーセル) ・新商品・新事業創出枠:2件採択(カイスイマレン、辻四郎ギター工房) ⇒県内企業の付加価値向上につながる新技術の実装や新商品開発等を推進。
		⑤アルミ・くすり、リサイクル等の産業競争力強化	アルミ産業成長力強化戦略推進事業	アルミの特性を活かした研究開発プロジェクトの事業化やアルミのリサイクル(グリーン化)に向けた研究開発を支援	72,990	R3~	・アルミのリサイクル(グリーン化)に関する研究開発 継続分(R3~):3件(国沢アルミ合金、北陸アルミニウム、三和製作所) 新規分:2件採択(タアフ、BBSジャパン) ⇒カーボンニュートラルやSDGsをふまえた研究開発を行い、県内企業の付加価値向上につながる新技術の実装や新商品開発等を推進。
			地方大学・地域産業創生くすりコンソーシアム推進事業	県内の産学官によるコンソーシアムを構築し、医薬品産業の振興や専門人材の育成を図るもの	997,000	H30.10 ~R10.3	・研究開発では、大学や共同研究企業とともに知財の確保を進めるなど早期実用化に向けた成果が見られてきている。 ・人材育成では、全国の学生を対象にしたサマースクール(オンライン)やバイオ医薬品の製造方法を学ぶ専門研修を実施した。 ⇒本県の中核的な産業である医薬品産業の成長・発展により県民1人あたりの県内総生産の増加に寄与する
		⑥実証実験の誘致・実施	デジタルソリューション推進事業	企業等が保有する革新的なデジタル技術(5G、AI、IoT等)を活用した地域課題解決の事例を創出し、県内での新しいビジネスモデルを構築	75,000	R4.4 ~R5.3	・7件の実証実験を実施(県内企業3社、県外4社) ⇒実証実験終了後も、各企業が県内でのビジネスの自走化に取り組んでおり、デジタル関連企業等の集積に向けた下地を形成した。
⑦人材育成、公教育の強化	とやま新時代創造プロジェクト学習推進事業	課題発見・解決能力の育成に向けたプロジェクト学習や今後の知識集約型社会で必要とされる教科等横断的なSTEAM教育を推進	15,500	R4.4~	・STEAM教育普及のための教員研修会2回実施(7/15、10/11) ・「とやま探究フォーラム」では県立高校18校178人の生徒が36テーマで発表し、発表者を含め、400人が参加 ⇒ プロジェクト学習、STEAM教育の普及を図り、R5年度も事業を継続し、引き続き、普及・推進につなげる		